

県立杉戸農業高校 ≪活性化・特色化方針（スクール・ポリシー）≫

課程	全日制	学科	生物生産技術科、園芸科 造園科、生物生産工学科 食品流通科、生活技術科	R6.5.1 生徒数	(男) 325 (女) 326	計 651			
アクセス	○東武動物公園駅 下車 東口から東へ 2.6km 徒歩 30 分 ○東武動物公園駅 下車 東口からバス 関宿中央ターミナル行き 10 分 豊後下車徒歩 10 分								
＜目指す学校像＞									
いのちとみどりを育む学舎で、自らを律する力と誠実な態度を身に付け、社会に貢献する人材を育成する。									
＜教育課程等＞ ※ 1									
<ul style="list-style-type: none"> ・農業に関する授業では、実験・実習を行いながらSDGsの理解を深め、実践的に学びます。 ・2年3年で、自分の興味や進路に応じて選択できる授業が、4時間ずつあります。 ・数学は1年次、英語は1・2年次に習熟度による授業を行います。（2クラス3展開） ・外部から講師を招いたり、校外で実習を行ったりして、プロから専門技術を学びます。 ・成績不振者等への補習を行います。朝読書も行っています。 ・GAP（農業生産工程管理）認証を取得し、安心安全で持続可能な農業を学んでいます。 									
＜本校が求める生徒＞ ※ 2									
<ul style="list-style-type: none"> ・農業に興味があり、農業を学びたい生徒 ・体を動かすことが好きな生徒 ・明るく将来を描く生徒 									
＜学校行事＞									
<ul style="list-style-type: none"> ・春、冬の即売会では、生徒がつくった野菜や草花、パンなどの販売をします。 ・「杉農祭」は収穫祭を兼ねた地域に期待されるイベントで生徒が元気に運営します。 ・長距離走大会では、自然豊かな学校周辺を生徒が一生懸命に走ります。 ・希望生徒が農家や企業等で現場実習を行い、「働くこと」を学びます。 									
＜部活動＞									
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車部はインターハイ（全国大会）の常連校です。 ・陸上部は県大会入賞、弓道部は各大会で入賞しています。 ・他にも入賞目指して頑張る部が多数あります。 ・学校農業クラブは、県大会最優秀賞受賞者続出（平板測量競技では4連覇中（造園科））。関東、全国でも、優秀賞受賞者が多数出ています。 									
＜家庭・地域との連携＞									
<ul style="list-style-type: none"> ・町のイベントでは生徒がつくった野菜やパン等の販売のほか、吹奏楽部が演奏を行います。 ・生徒が、地域の幼稚園児や小学生の“先生”となって、ナシの栽培や田植えを教えます。 ・警察署と連携し、カエルマスコット（無事カエル）やナシ（事故ナシ）、交通安全キーホルダーを配って、交通事故防止をすすめています。 									
進路	R6.3 卒業生	四大	34人	短大	8人	専門	75人	就職	79人
	傾向	<ul style="list-style-type: none"> ・四年制大学への進学者が増加傾向。多くの大学から指定校をいただいています。 ・企業からの求人は2000社を超えます。創立100年を超える伝統と、多方面で活躍する先輩のお陰で、多くの求人をいただいています。 ・授業内容に即した進路先が多数あります。農業関係への就職もあります。 ・公務員試験に複数名合格しています。 							

【学校教育法施行規則第103条の2】高等学校における三つの方針
裏面 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）
※1 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）
※2 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）



いのちとみどりを育む学校

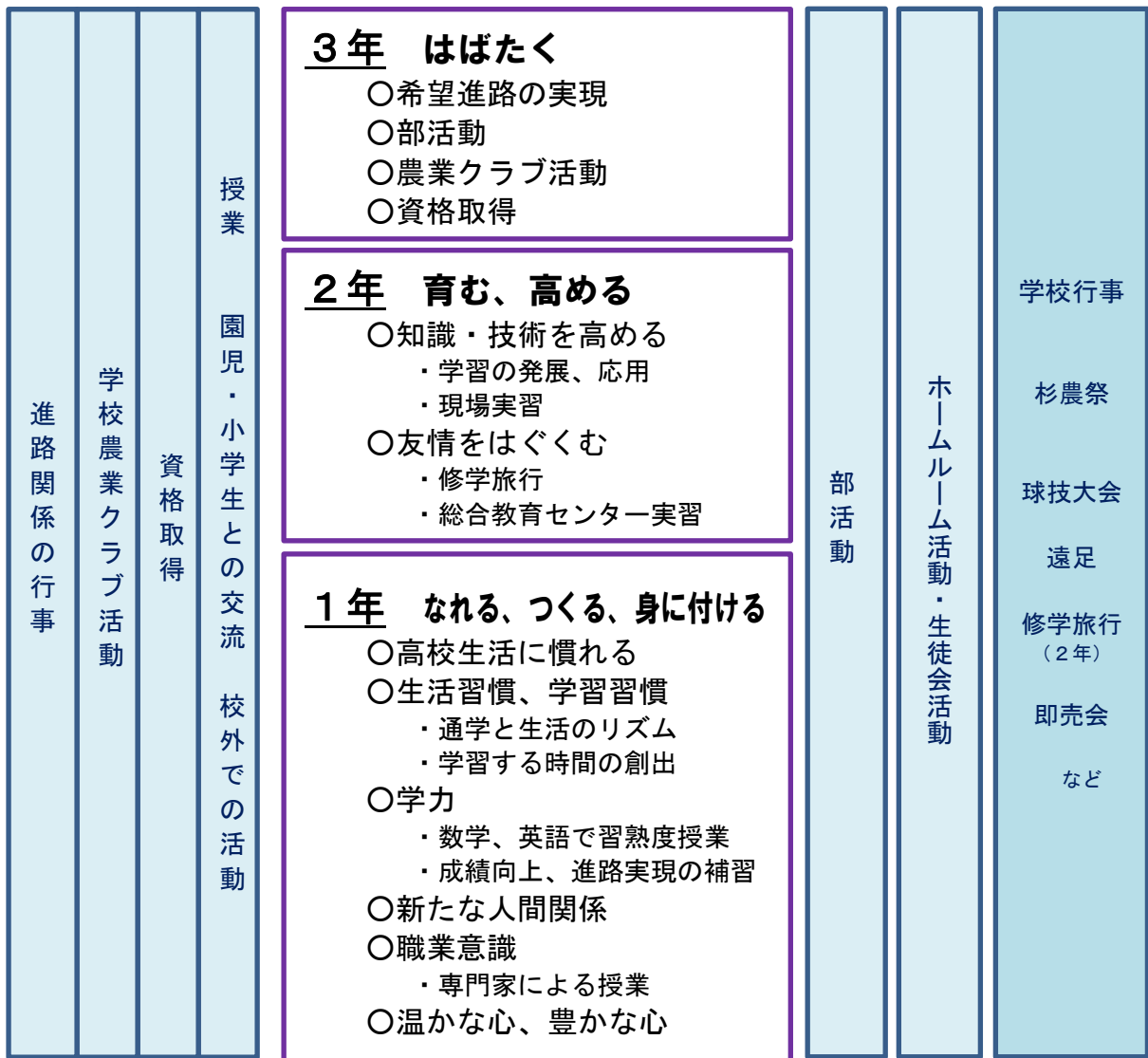
県立杉戸農業高校

3年後の目標

- ◎ 社会の役に立つ人となる
 - ・働くことにやりがいを持てる
 - ・他人がやりたがらないようなことも率先して行える
 - ・コミュニケーション力を持つ
 - ・基本的な生活習慣を身に付ける
 - ・基本的知識と学ぶ習慣を身に付ける
 - ・体力をつける

杉農は

- ◇体験、実践をとおして学ぶ
- ◇生徒一人一人が主役



新しい授業

- ・体験的、実践的
- ・課題解決型の学習法

高校に入学して

新しく知り合う仲間

- ・ホームルーム(クラス)
- ・部活動